



JPVS推奨の“dd-coffee”

“dd-coffee”には、ココナツミルク・5種のハーブ(ガルシニア・霊芝・白インゲン豆・ステビア・甘草)が配合されている



今日は、ベジ気分！

ベジタリアンと大豆は切っても切れない間柄。少し、ベジで楽しい生活をのぞいてみませんか？

日本ベジタリアン協会(= JPVS) 推奨の“dd-coffee”を製造販売されている、清水印刷紙工株式会社の清水宏和社長を、橋本晃一がご紹介いたします。



今月のベジーさん
しみず ひろかず
清水 宏和 さん

～清水印刷紙工株式会社 代表取締役～

●現在に至るまでの経歴●

早稲田大学教育学部を卒業後、ダラス大学大学院でマーケティング・リサーチについて学び、MBA(経営学修士)を得たのち、早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科で博士号を取得されました。

1992年から94年まで、欧文印刷の営業を勤め、1994年2月に清水印刷紙工の代表取締役専務に就任、同年3月に代表取締役社長に就任されました。

日本印刷学会や日本LCA学会の会員でもありまた、日本商工会議所・中小企業政策専門委員会やエネルギー・原子力政策に関する研究会、経済産業省総合資源エネルギー調査会・電力供給検証小委員会の委員なども務められ、積極的に学会や社会貢献活動を行っておられました。

2009年には、第6回LCA日本フォーラム会長賞、2010年には日本印刷学会論文賞を受賞されております。

●dd-coffee との出会い●

タイ王国の華僑である奥様の知人で、現地のハーブ医の先生が患者さん向けに作っている白砂糖なしでも甘い口当たりのコーヒーを試飲したことから全ては始まり、「これは売れるかもしれない」と現地以外への販路拡大を申し出て、昨年より日本・台湾への現地からの輸出を開始されました。このコーヒーを“dd-coffee”(“ディー・ディー”とはタイ語で“とても良い”という意味)と名付けて販売を進めておられます。

●印刷会社がコーヒーを販売することの不思議●

初めてお会いする方々に、「どうして印刷会社がコーヒーを販売しているのですか？」と必ず質問を受けるようです。化粧品向けパッケージング(印刷・製函・包装仕上)を生業としながらも、将来の業態複線化を睨んで、パッケージの中に入れるものを開発・販売することを試行錯誤しておられます。印刷業以外にも積極的に挑戦を続ける中で、現在取り組んでいるのが、**dd-coffee**の東南ア

●タイ王国のコーヒー豆●

アジアにおける販売網の拡大です。コーヒー豆という点、南米やアフリカを連想される方が多いと思いますが、タイ王国北部でも一部の地域でコーヒー豆が栽培されています。以前は、**ゴールデンラミアン**として悪名高いミャンマー・ラオスとの国境付近でアヘンとなるケシの実が栽培されていましたが、故プミポン国王の違法作物転換プロジェクトにより、今では高品位なアラビカ種の**コーヒー豆**が栽培できるようになりました。

●100%植物性のインスタントコーヒー●

た。2000年初頭からの高級豆への需要の高まりにより、コーヒー豆の価格が上昇したことでコーヒー農家の生産量が大きく後押しされ、現在では北部山岳地域に住む部族の多くが、高い現金収入となるアラビカ種の栽培への取り組みを本格化しています。

dd-coffeeは一般的なコーヒーとは大きく異なり、コーヒー豆以外にも健康に良いとされている**ココナツミルク・ハーブ**



台湾向けパッケージの“dd-coffee”「植物拿鐵珈琲」リピーター向けの60袋入り

ホットでもアイスでもおいしい 一般的なインスタントコーヒーに入っているpH調整剤や香料などは一切不使用

5種（ガルシニア・靈芝・白インゲン豆・ステビア・甘草）が配合されている、とてもユニークなコーヒーです。使われている材料は全てがタイ王国で栽培されている植物で、一般的なインスタントコーヒーに入っているpH調整剤や香料などを一切使用しておらず、飲料の方から、「白砂糖を入れていないのに、どうしてこんなに甘口当たりなのか？」と必ずといっていいほど質問を受けるそうです。このマイルドな甘さは白砂糖ではなく、ステビアと甘草により作り出されています。

●台湾での好調な販売●

国内販売は今一つ伸び悩んでいるようですが、台湾では好調に販売が推移しているようです。昨年のFOODEXにおいて台湾の方と知り合い、現地向けにパッケージを一新して植物拿鐵珈琲として販売されています。台湾では、ヴィーガンやシニアを中心に顧客が増え、今では粗食を中心とする仏教界にまでその販路が広がっています。当初は10袋入りパッケージでの販売でしたが、現在ではリピートカスタマー様向けに60



dd-coffee
清水印刷紙工株式会社

“dd-coffee”にご興味をいただきました方は、是非ともウェブサイトをご覧ください。

<https://dd-coffee.com>

清水印刷紙工(株)
■東京本社
〒112-0013 東京都文京区音羽 2-1-20
TEL 03-3941-7171 / FAX 03-3941-7125
■群馬工場
〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町大字赤堀字鞆掛 4127-1
TEL 0276-70-2255 / FAX 0276-89-0288

●今後の展開●

袋入りのパッケージまで登場するそうです。台北市で11月16〜19日に開催されたコーヒーの国際展示会に出展、さらなる台湾から中華圏に向けた販路拡大に、清水さんは期待しているとのこと。

という受動的な仕事と、パッケージに入れるべきものを開発・包装して一般消費者の方々に届けるという能動的な仕事があります。これからは、コーヒー豆の産地にこだわったコーヒーを追い求める消費者ではなく、コーヒーと体に良いものを高度に融合させたものにこだわる消費者を顧客層として捉え、新しい発想でユニークなコーヒーをご提供していきたいと清水さんは考えているようです。

無浸漬豆乳豆腐原料 元祖

好評 ジュクセイ大豆

簡単な攪拌機と煮釜があれば、あとは絞るだけ
製造工程の大幅な短縮、ランニングコストの削減

株式会社 第一タンパク <http://www.daiichitanpaku.co.jp>
〒380-0928 長野県長野市若里4-16-17 TEL:026-224-8445(代表)

<協会事務局>
〒532-0003
大阪市淀川区
宮原 1-19-23-1317
☎06-6868-9860
<http://www.jpvs.org>



NPO法人日本ベジタリアン協会
橋本 晃一(事務局長)
日本ベジタリアン学会プレゼンテーション賞受賞